

3-2	松本城の城主(1) 石川数正・康長
------------	--------------------------

近世松本城の天守3棟を建てた石川数正・康長についてお尋ねします。

1 石川数正が実際に行なわなかったことはどれでしょう

- ①天文18年(1549)徳川家康が今川氏へ人質として行くとき随行した。
- ②永禄5年(1562)家康と信長が清洲で同盟を結んだとき織田と松平の間を斡旋した。
- ③永禄6年(1563)三河一向一揆が起こったとき一族とは行動を別にし浄土真宗(一向宗)から浄土宗に改宗して家康に仕えた。
- ④天正10年(1582)本能寺の変直後、家康の伊賀越(堺遊覧中の家康は伊賀を越えて三河に脱出した)に同行した。



2 石川数正は徳川家康の老臣でした。1585年突然岡崎城を出奔して秀吉の下に走ります。その理由は明らかになっていませんが、徳川方のネゴシエーター(交渉人)であった数正が秀吉にヘッドハンティングされたものと考えられています。この数正が和平交渉を担当した。秀吉対家康側の戦いをなんと呼ぶでしょう。

- ①長篠の合戦 ②関ヶ原の戦い ③小牧・長久手の戦い ④姉川の戦い

3 数正が秀吉側に出奔した直後、家康側がまず行なった対応策はなにか。

- ①密かに石川数正に討手を差し向けた。
- ②三河国の防備を固め、徳川軍のしゅみを大幅に変更した。
- ③秀吉と交渉して石川数正を復帰させようとした。



4 数正は秀吉から1584年に10万石の所領を与えられ厚遇されたと伝えられています。その所領のあった国は何処でしょう

- ①摂津国 ②和泉国 ③大和国 ④播磨国

5 1590年秀吉の命で数正は家康を監視する任を負って8万石で松本へ入封します。1590年秀吉が天下を握った戦いをなんというでしょう。

- ①関ヶ原の戦い ②山崎の合戦 ③小田原の戦い ④長篠の戦い

6 石川数正は最近の研究では天正18年(1590)8月末には松本に入部しています。石川数正が松本で最初に行なったことはなんでしょう。

- ①太閤検地の実施 ②刀刈りの実施 ③寺社に制札^{せいさつ}を掲げた ④宿場制度の整備

7 1591年3月秀吉の朝鮮出兵にともない、数正は3月、500騎を率いて肥前名護屋に出陣したと、同年12月14日数正の葬儀が京都七条河原で行われたことが山科言経^{とよかつね}の「言経^{とよかつね}脚記^{きょうき}」という日記に書かれています。この日記から数正の「文禄元年死去」が裏付けられました。これを書いた言経^{とよかつね}の身分はつぎのうちどれでしょう。

- ①秀吉の祐筆^{ゆうひつ} ②家康の武将 ③京都の公家^{くげ} ④京都の僧

8 石川康長は父の遺志を継いで秀吉側の城として天守3棟を建てますが、康長は関ヶ原の戦いでは西軍・東軍どちらに属しましたか。

- ①西軍(大坂方) ②東軍(家康方)

9 慶長18年(1613)石川康長は^{おおくぼながやす}大久保長安事件に^{れんざ}連座して改易され、^{かうえき}豊後佐伯に^{ぶんごきえき}配流されます。康長改易の理由について民間では色々伝承されていますが、言い伝えにないものはどれでしょう。

- ①大久保長安と図って幕府を転覆し天皇中心の世の中を作ろうとした。
②幕府には新田開発を届けず隠田(おんでん・かくしだ)を持っていた。
③幕府の許可を得ず分不相応な城郭をつくり人々を苦しめた。
④家臣の間で争うがありこれをおさめる事が出来なかった。(監督不行届)



大久保長安像

10 右の仏像は佐伯に配流された石川康長が日夜拝んでいた「^{あみだにょらいりゆうぞう}阿弥陀如来立像」です。昭和46(1971)年11月九州福岡の古川家より358年ぶりに松本に戻った仏様です。この仏像は現在博物館に収蔵されていますがなんと呼ばれているでしょう。

- ①石川康長公念持仏^{ねんじぶつ}
②石川康長公祈願仏
③石川康長公守護仏

